

お子さんを
公立上位高校へ導きたいお母さんの禁句

「わからなかったら先生に聞きなさい」

どこがおかしいのでしょうか？

逆説的に言えば、
お母さんから「背中を押されないと自ら質問できない」、
とも解釈できます。

成績の良い子は尋ねることを恐れません。
自身の不安点をどんどん解決し学力を高めます。
だから、成績が上がります。

「正の循環」です。

成績が低空飛行の子で、
尋ねることを苦にしない子は少数です。
なぜ「尋ねる」ことができないのでしょうか。

簡単です。

「怖い」からです。

幼少期に

「こんなこともわからないの」等々、
子どもにとって傷つく言葉を沢山浴びたからです。
子どもは「尋ねたら何を言われるか怖くて仕方ない」のです。

わからない事がある、
教えて欲しい、
でも、
聞いてまた叱られたらどうしよう・・・

「負の循環」です。

7年も前のことですが、
ある小学低学年の子に
「よくできたね～」と頭を撫でようとしたら
さっと手をかざし身構えられた経験があります。
本人は、ぶたれると思ったのでしょうか。
日常生活が垣間見えた一瞬でした。

先生に尋ねる事を怖がらないようにする為に、
お母さんは、お子さんに「小さな成功体験」を沢山積ませてあげてください。

勉強でなくてもいいです。

スポーツでも書道でも絵でも縄跳びでも・・・なんでも良いです。

成功体験がお子さんの自信となり「元」となります。

元のしっかりとした子は、何事に対しても意欲的で、
堂々とした立ち居振る舞いです。

小さな成功体験の積み重ね=公立上位高校への道の1つと言えます。

お節介ながらお母さんへ。

飛燕ゼミでは、「わからないことを尋ねさせる」だけでなく、
「わかったこと、できたこと、発見した」事を報告してもらい
成功体験を積み重ねるよう心掛けています。

お母さんもそのようなお気持ちで
子育てを楽しんではいかがでしょうか？

三条高校 巻高校への本気組支援塾

飛燕ゼミ

塾長 宇佐美 利宏

〒959-0237 新潟県燕市吉田堤町 2-15

TEL 0256-92-8805

FAX 0256-92-8808

Mail cai_yoshida@wave.plala.or.jp

ブログ <http://hienzemi.blog94.fc2.com/>

HP <http://hienzemi.com/>